

# 収支の概況

- 2011年3月の東日本大震災以降、泊発電所各号機が順次停止し、火力発電所の燃料費や、他社から購入している購入電力料が急増したことから、2013年度および2014年度の2度にわたり、電気料金の値上げを実施させていただきました。
- 2020年度については、経常利益は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う減少などはありませんでしたが、今冬の寒波の影響に加え、北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、効率化・コスト低減に取り組んだことから、362億円となりました。
- 2020年度末の純資産は、326億円の当期純利益を計上したことなどにより、2,337億円(自己資本比率12.6%)となりました。しかし、これは震災以前である2010年度末の純資産3,659億円(自己資本比率23.2%)に比べ低い水準であり、また、有利子負債残高については1兆3,928億円となっており、依然として当社の財務状況は大変厳しい状況が続いています。
- 当期純利益につきましては、配当および内部留保の充実にあて、内部留保資金につきましては、設備投資ならびに財務体質の改善等に活用しています。
- 内外の事業環境が大きく変化するなか、泊発電所の再稼働前においても安定して利益を生み出し、財務基盤の強化を図るとともに、さらなる成長を遂げていくため、グループ一体となって中長期を見据えた施策に取り組んでいきます。
- 電気料金につきましては現行料金の維持に努め、泊発電所の営業運転復帰後は値下げを実施したいと考えています。

## ◆収支実績

(億円)

		年 度				
		2016	2017	2018	2019	2020※
経常 収益	電灯電力料	5,789	5,688	5,549	5,578	4,942
	その他収益	1,011	1,365	1,689	1,603	1,813
	合 計	6,800	7,053	7,239	7,181	6,756
経常 費用	人 件 費	533	531	538	566	273
	燃料費・購入電力料	2,342	2,687	2,835	2,749	2,247
	修 繕 費	973	822	717	799	371
	減価償却費	795	776	841	687	439
	支 払 利 息	150	141	118	111	103
	その他費用	1,946	1,962	1,924	1,990	2,958
	合 計	6,742	6,921	6,976	6,905	6,394
( 営 業 利 益 )		(202)	(273)	(370)	(364)	(438)
経 常 利 益		58	132	262	276	362
渴水準備金引当又は取崩し		12	△9	12	△7	△2
特 別 損 失		15	—	40	—	—
税引前当期純利益		30	141	209	284	364
法 人 税 等		△20	10	6	44	38
当 期 純 利 益		51	131	202	239	326

※2020年度から送配電部門の法的分離が実施されたことにより、北海道電力株式会社単独値を記載

# 主要諸元／財務指標等（単独）

## ◆主要諸元

	年 度				
	2016	2017	2018	2019	2020
販売電力量(億kWh)	268	248	228	237	226
為替レート(円／\$)	108	111	111	109	106
原油CIF価格(\$／b)	47.5	57.0	72.1	67.8	43.4

## ◆財務指標等

	年 度				
	2016	2017	2018	2019	2020
売上高(億円)	6,771	7,031	7,212	7,144	6,695
経常利益(億円)	58	132	262	276	362
当期純利益(億円)	51	131	202	239	326
純資産残高(億円)	1,608	1,702	1,851	2,017	2,337
自己資本比率(%)	9.1	9.2	9.8	10.7	12.6
有利子負債残高(億円)	13,611	14,295	13,998	14,171	13,928